

基本目標	項目	現状と課題	取り組みの方向
じやまなし	<p>① 新たな観光の振興</p> <p>■ 県では本県観光の一層の活性化に向け、次のような目標を設定 ▶ 観光客数 (H18)4,404万人 → (H22)5,000万人 ▶ 宿泊客数 (H18)604万人 → (H22)700万人 ▶ 一人当たり観光消費額 (H18)8,945円 → (H22)10,000円 ■ 目標達成のためには、地域の主体的な魅力づくりなどと併せ、従来の観光の枠に囚われない、柔軟かつ戦略的な取り組みが必要</p>	<p>本県の観光客数の推移</p> <p>本県の宿泊客数の推移</p> <p>県内における観光消費総額等の推移</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インターネット活用による個人・小グループ旅行の誘客と物産販売機能の強化 ◆ 地域の観光地再生や着地型観光推進の取り組みへの支援 ◆ 企業研修等の誘致による新たな団体旅行の獲得 ◆ 農山村への都市住民や企業のニーズ等を踏まえた受け入れ体制の整備 <p>【現在の主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 観光推進機構の設立準備 ◇ 地域による観光地再生に向けた具体的な事業検討を支援するためアドバイザー派遣(H20年度:昇仙峡、下部温泉郷) ◇ 国内における企業研修・セミナー旅行等の調査・研究 ◇ 着地型観光研究会の開催 ◇ 個人旅行者向け商品造成の促進 ◇ グリーンツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 富士の国やまなし農村休暇邑協会のHP掲載情報の充実 ▶ グリーンツーリズム商品造成研究会の活動支援
	<p>② 二地域居住の促進</p> <p>■ 農山村地域で少子高齢化や農業の担い手不足が進行する一方、都市住民の多くが田舎暮らしを志向 ■ 二地域居住者に対するモニタリング調査の結果では、半数が住宅を新築しており、また、現在取り組みがなされていない課題としては、住宅の維持・管理、公共サービス、現地での交流等があげられている。 ■ 本県への二地域居住と長期の滞在を促進させるためには、都市住民のニーズに更に対応した方策が必要</p>	<p>二地域居住人口の将来イメージ</p> <p>山梨での二地域居住の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 二地域居住の各段階に応じた取り組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 誘導段階…二地域居住者向けの新しい住宅商品開発等 ▶ 試行段階…市町村等と連携した農業体験等の場づくり ▶ 促進段階…二地域居住者の情報交換の場の開設 <p>【現在の主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 誘導段階 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 田舎暮らし情報紹介・相談窓口「グリーンカフェやまなし」開設 ▶ 「やまなしライフ相談会」の東京・日本橋での開催 ▶ 市町村による空き家バンク整備への支援 ▶ 国交省HP「二地域倶楽部」への参加と情報発信 ◇ 試行段階 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市町村との連携による居住体験機会の提供 ▶ 市町村によるクラインガルテン整備への支援 ◇ 促進段階 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中日本高速道路及びJRと連携した移動経費負担の軽減
	<p>③ インバウンド観光の推進</p> <p>■ 県では、H22年までに外国人観光客を100万人にする目標(H18年:69万人) ■ 訪日外国人旅行者は、H15年から毎年10%前後の率で増加してきたが、世界的な金融危機や円高のため今後の動向は不透明 ▶ H19年の訪日旅行者は835万人(前年比14%増) ※韓国260万人(+22.8%)、台湾139万人(+5.8%)、中国94万人(+16.1%) ▶ H19年の本県への外国人旅行者は、過去最高の88万人(前年比+28%) ※中国、台湾、香港など中華圏からの宿泊客が7割超。次いで韓国、タイ、シンガポールが多い ■ 観光産業活性化のためには、アジア地域からの誘客拡大が必要</p>	<p>訪日外国人旅行者及び山梨県来訪外国人旅行者数</p> <p>訪日外国人旅行者数(地域別:2007年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海外有望市場における効果的なプロモーションの展開 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 富士山を前面に、果実、ワイン、宝飾等を一体的にPRし、ブランドイメージを確立 ◆ 観光産業の国際化等 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 通訳ボランティアの育成、ホスピタリティの向上等 <p>【現在の主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 海外における観光プロモーション等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国上海市・広州、香港、台湾等 ▶ 中国で観光セールスを行う専門スタッフを委託 ◇ 外国人旅行者受入体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 観光事業者等を対象とした研修会の開催支援 ▶ 通訳ボランティアの育成、組織化 ◇ 観光産業の国際化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ▶ やまなしインバウンド観光教育プログラムの展開 ◇ 北京市との観光交流事業の実施

基本目標	項目	現状と課題	取り組みの方向
むすぶ・やまなし	① 骨格道路網の整備	<p>■ 本県が持続的に発展していくためには、地域経済活動の活性化や広域的な交流・連携を支える、高速道路や地域高規格道路等の骨格道路網の整備が必要</p> <p>▶ 道路財源においては平成21年度予算政府案で、道路特定財源は一般財源化され、国の厳しい財政運営と新たな交通需要推計結果を反映し道路整備全体として9%の減。</p> <p>一方、「地方道路整備臨時交付金」は廃止され、これに代わる地方道路整備のための財源として「地域活力基盤創造交付金」が新設。</p> <p>▶ 高速道路や県道道路については、管理区域や行政区等により整備主体が異なることから、整備への方針について共通の認識を持つことが必要。</p>	<p>◆ 広域的な交流及び地域を支える幹線道路網の整備に必要な財源確保が確実に実施されるよう国等に要請</p> <p>◆ 中部横断自動車道を始めとする高速道路等の整備促進に向けた関係機関との連携強化</p> <p>【現在の主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 中部横断自動車道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ICアクセス道路等の関連公共施設の整備推進 ▶ 用地取得事務の受託により早期完成を促進 ◇ 中央自動車道の渋滞対策 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京都等、関係都縣市と連携した要望活動の実施 ◇ 新山梨環状道路(北部区間、東部区間)の整備 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境影響評価、都市計画決定手続きの実施 ◇ 西関東連絡道路 甲府山梨道路Ⅱ期の整備 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路詳細設計、用地調査・買収の実施 ◇ 東富士五湖道路の第二東名接続の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 静岡県と連携した国等への要望活動の実施



